

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人ほほえみ	事業所名	看護小規模多機能ホーム なごみ
所在地	(〒830-0205) 福岡県久留米市城島町大依 310 番地 13		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ① 看護、医療、介護が連携を図り情報共有することで、利用者が健康で安心できる生活を送ることができるよう支援を行う
- ② 利用者と家族の意向を把握し、都度相談しながら一人一人の状態に合わせた柔軟なサービスを提供する
- ③ 住み慣れた家や地域で最後まで自分らしい生活を続けたいという高齢者や御家族の思いに寄り添うこと

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 5 月 21 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2,025 年 6 月 17 日	出席人数 (合計)	(12) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (8 人) ☐ 市町村職員 (1 人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☐ 地域住民の代表者 (1 人) ☐ 利用者 (2 人) ☐ 利用者の家族 (人) ☐ 知見を有する者 (人) ☐ その他 (人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)				
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)			
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)			
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)			
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)				

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・全職員を対象に法人内の研修、職種別の会議を毎月実施しており内容も多方面に及んでいる。参加した職員の満足度も概ね高い ・緊急時の連絡訓練を年1回、火災時の避難訓練を年2回実施し改善点を確認し対応方針の共有を図っている ・小規模から看護小規模に変わり業務内容の変化や医療依存度が高い利用者への支援がより求められるようになり、新たな業務や取り決めに対応することに精一杯で負担増を感じる職員が多かった	・職員のスキルアップができるように、個別の目標を立て法人内外研修や職種別会議への参加を推奨していきます ・今年度は職員の入れ替わりも多くあり、今までの事業所での課題を職員間で話し合いながら、意見を元に改善、活性化を目指します ・BCP研修や消防立ち会いの避難訓練を実施し、全職員の防災への意識を高め実際の場面に活かせるようにしたい
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	毎日夕方にミーティングを行うことで、利用者の状態変化に気づきやすくなり、情報共有や提案の場になりつつあり、職員が利用者の状態をより気をつけて観察できるようになった	・看護職・介護職の円滑なコミュニケーションが図れることにより、利用者・家族にきめ細やかな対応ができ、小さな変化にも対応出来るサービス提供を目指します ・利用者の状態の変化に合わせて、事業所職員がサービスの追加や変更を提案できるように努めます
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・退院前や相談受付時にケアマネジャー、看護師が病院・施設へ出向き情報共有を行い、退院後や利用開始時の支援をスムーズに出来るようにしている	・多職種との連携を密にし利用者を中心としたサービスの提供が円滑に行なえるように努めます ・システムツールを用いて医療機関とのやり取りを円滑に進めていきます
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	・運営推進会議での記録について内部、外部問わず誰でも閲覧できるようにしているが、情報発信が全職員にできていなかったため閲覧には至らずよくわからないという意見が多かった ・地域住民や保育園児を招いてのほほえみ祭や餅つきを開催した	・運営推進会議の記録を全職員に周知し、会議でいただいた要望、助言などを把握しサービスの提供に反映していきます ・継続して地域との交流を深め、地域の相談窓口の一つとして、看護小規模多機能の特徴を活かし、地域からの相談の対応を行っています

Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	・医療との連携や看護師の 24 時間対応など、継続的支援対応ができており安心につながっている ・看取りを希望する利用者および家族がいれば医療、看護、介護が連携して利用者、家族を支援できるようにしている	・利用者本人と家族の状況に合わせて、訪問・通い・泊りサービスを組み合わせた柔軟な支援ができる体制を維持します ・44 項目のできていることは今後も継続し自己評価の向上を図っていきます
-------------------------	--	---

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	2	9	2		支援されていることが、理念などで掲げられていますか	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・看取り対応の相談があり、スムーズに病院からの受け入れからの継続支援ができた ・医師、看護、介護が連携を図り情報共有することで医療ニーズの高い利用者の支援を行っている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い ない	全 く でき て い ない		
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	3	7	3		・貴事業所の理念を知る機会がないので、運営推進会議等で周知もしくは資料などに入れて頂ければと思います ・看護小規模への理解を進めるために、何かされたことはありますか	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	10	2			✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		・各職員が年度初めに目標を立て管理者と面談し目標や育成方針の設定を行っている ・職種別の研修・育成計画に基づいて人材育成を行っている					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて	8	4	1		・法人外の研修を受ける機会 は設定されていますか。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・法人内の研修は毎月行われており、研修後のレポート提出も義務化されている				・職員それぞれで研修内容の捉え方が異なるかと思うので、事業所内で共通認識にするためにも、話し合いの場が重要だと思います。	充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	10	2		・毎日のミーティングでは、議題等、用意されていますか。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・4月から毎日 16 時にミーティングを行っており、毎日多職種で意見交換する機会が持てるようになった ・毎月 1 回看多機会会議を開催し情報共有を行っている					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	2	9		運営推進会議に職員が交代で参加できるのであれば、参加した職員の運営推進会議への理解を深められると思います。また、それによって、会議録にも目がいくようになる	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・会議録を事業所に掲示し管理者より会議でいただいた助言など伝達はおこなっていたが職員への情報共有は不十分だった					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		た					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	5	6		相談しやすい職場づくりのために、工夫されていることはありますか。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・小規模から看護小規模に変わり業務内容の変化や医療依存度が高い利用者への支援がより求められるようになり、負担増やマンパワー不足を感じる職員が多かった ・個人の希望を踏まえたシフト作成ができている ・上司、同僚に相談しやすい環境である					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	2	9	2			✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者の状態変化に応じてケアプランを変更しサービス内容の変更や必要な福祉					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		用具の利用など迅速に対応できている ・電子カルテや申し送りノートを活用して 情報共有を図っている					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	10	2			✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・ヒヤリ・事故報告書は基本当日に作成し職員間で要因分析、対応策の共有を図っている					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	8	2		・貴事業所の防災マニュアルを知る機会がなかなかないので、運営推進会議等で見せていただければと思います。 ・防災訓練の様子や実際の避難経路を運営推進会議等で教えていただければと思います。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・緊急連絡網を整備し、年1回訓練を実施している ・年2回の研修、防災訓練を実施し対応方針の共有を図っている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を含 む、利用者等の 24 時間の暮 らし全体に着目したアセス メントが行われている	2	11			サ高住併設のメリットが活か されていると思います。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮 らし全体に着目したアセスメン ト」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小 規模多機能型居宅介護におい ては、家族等も含めた 24 時間の暮 らし全体に着目したアセスメン トが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] ・サ高住に併設されているため、利用者 の暮らし全体に着目することができ、ア セスメントに活かされている					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれ の視点から実施したアセス	1	8	4			✓ 「介護職と看護職間でのアセス メント結果の共有」について、充足

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	メントの結果が、両職種の間 で共有されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・毎日のミーティング時に両職種で共有 を図っている。看護職、介護職それぞれの 業務を行なっているので確実に共有さ れていない部分もある					度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたア セスメントの結果は、その後のつ き合わせなどを通じて、両職種で 共有されることが望ましいといえ ます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考え を把握するとともに、その目 標の達成に向けた計画が作 成されている	3	8	2		家族と音信不通であり、か つ、利用者の意思表示も難し いような場合、こういった方 針や流れで計画を作成され ていますか。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作 成」について、充足度を評価し利 用者のみでなく、家族等の考えを 適切に把握するとともに、その考 えを含めた計画を作成することは 重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大 限に活かした、「心身の機能 の維持回復」「生活機能の維 持又は向上」を目指すことを 重視した計画が作成されて いる	4	9				✓ 「利用者の有する能力を活かし た、心身機能の維持回復を重視し た計画の作成」について、充足度 を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有 する能力に応じ地域において自立 した日常生活を営む」ために、必 要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよ そで きてい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	4	9				✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	2	10	1		サ高住併設のメリットが活かされていると思います。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利	2	9	2			✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・居室を訪問するだけでなく、サ高住職員との情報の共有を行い生活状況の把握に努めている					把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	9	2			✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・主治医や福祉用具事業者とは定期的な訪問診療時や来設時に情報共有を図っている。 ・状況変化時には迅速に主治医へ報告し、関係多職種との情報共有、事業所外への連絡を行なっている					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	8	3		そういった状況の改善は難しいかと思いますが、改善方法等は考えられていますか。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・それぞれの専門性を活かし、声を掛け合いながら役割分担を行なっているが、体調が悪い利用者のケアが看護師に偏					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		り、介護職が適切にサポートできない状況がある					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	2	8	3		[具体的な状況・取組内容] ・毎日夕方のミーティングで看護・介護両方の職員が参加し情報を共有している	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	3	8	2		[具体的な状況・取組内容] ・毎夕のミーティングが情報提供・提案の場となっている	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	8	3		・説明をされる際に、工夫されていることはありますか。 ・十分な理解を得られていないこともあるということですが、改善策はありますか。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・相談受付時に利用者、家族へ説明を行っている ・質問や問い合わせには都度分かりやすい説明を心がけているが、十分な理解を得ていない事もある					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	9	2			✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・担当者会議でケアマネ、看護、介護、福祉用具などの業者を交え、それぞれの観点から説明し利用者、家族からの理解を得られるよう努めている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明	2	8	3		事業所で行っている、そういった支援を、運営推進会議等で紹介してもらうことが、事	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・インスリン自己注射の方が、家族の協					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	明し、利用者等の理解を得て いる	力も得ながら実施でき外泊も行う事がで きた				業所のサービスについて知 ってもらえるきっかけにな ると思います。	
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表 示ができない場合は家族等） の希望や意向を把握し、サー ビスの提供に反映している	2	10	1			✓ 「サービス提供への適切な反映」 について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・希望や意向の変更にも対応できるように 話し合いの場を設けている ・状態変化に応じて家族と連絡を取り合 い、希望や意向を確認している					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検 討すべき状況を予め想定し、 その際の対応方針等につい て、利用者等と相談・共有す ることができる	2	8	2	1		✓ 「将来に発生し得る様々なリスク を想定した上での、対応策の検討 と共有」について、充足度を評価 します
		[具体的な状況・取組内容] ・介護負担の増加や、疾病の重度化によ り在宅生活に様々なリスクが生じる利用 者、家族に今後の対応、方向性など話し 合い共有している					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者 等に適切な時期を見計らっ て、予後および死までの経過 を丁寧に説明し、説明した内 容や利用者等の意向等を記	2	9	2			✓ 「予後および死までの経過の説 明」と「記録の有無」の2つの視 点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録とし て残している」場合は「よくでき
		[具体的な状況・取組内容] ・状態変化時の本人の状態や主治医の説 明を家族に伝え、その内容、家族の反応					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 ている」
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		などを記録にのこしている					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	4	8	1		今後、確認される予定はありますか。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・退院前に病院・施設へ出向き、情報共有を行ない、在宅生活への移行が円滑に行なわれるよう努めている					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	1	7	5			✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医に相談、救急搬送の手配の流れがスムーズに行えるよう、緊急時対応シートを作成しているが、状態が安定していて受診が家族対応の利用者や主治医が協力医療機関以外の利用者については、緊急時の対応を確認できていない方もおり、家族と緊急時の対応を協議している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	2	7	4			✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・夜間は看護師がオンコール対応をしており、主治医や家族に迅速に連絡し、情報共有できるように備えている					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	1	6	3	3	・運営推進会議における事故報告等を通して、利用者に関する情報提供等はできていると思います。 ・運営推進会議の場が特養内なので、実際に、看多機事業所内や利用者の様子を見られる機会があれば、より具体的な提案等をしてもらえるようになると思います。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		[具体的な状況・取組内容] ・2か月に一回、運営推進会議において情報提供を行ない意見や提案を求めている ・運営推進会議に参加したことがないスタッフが多く、よくわからないという意見が多かった					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	2	4	4	3		✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・議事録は迅速に作成し、事業所玄関先に誰でも見ることができるように設置しているが、全職員への周知はできておらず内容を知らない職員も多かった					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		3	7	3	・事業所内での活動は、積極的に行われており、活動を通して、地域の方々に事業所を知ってもらえていると思います。 ・今後、地域に出向いて啓発活動を行う予定はありますか。 ・地域への啓発が有効なのはほほえみ祭などの実施。チラ	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・法人の概要や役割などを知って頂くために地域住民や保育園児を招いてのほほえみ祭や餅つきを開催した。 ・地域に出向いての啓発活動は行なっていない					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全 く でき てい ない		
						シを多く配布することで参加までしなくても情報発信になると思います	
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	3	7	6			✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要			8		現実的に難しいかもしれま	✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およ そ で き て い る	あ ま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
	介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				5	せんが、介護職員が研修を受けることで、より充実した体制を整備していただければと思います。	充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			3	10		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4	3	6			✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	2	8	2		✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		2	6	5		✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている			7	6	非常に難しいことだと思います	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや	1	3	4	5	ほほえみ祭で、地域住民の方からの相談等を聞いたとい	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	向上のための具体的な取組 等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・近隣住民の方たちとの取組みはないが、 家族とは電話や面会時を利用してこまめに 連絡をとり、家族だからできる支援をお願い したり、介護への提案を出してもらったりし ている。				ったお話を、運営推進会議で 伺った気がしますが、それが 取り組みに該当すると思い ます。	組」について、その充足度を評価 します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高める ことにより、在宅での療養生活を 支えていくための環境を整えてい くなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・計画目標に沿ってサービス提供を行い、概ね目標は達成されている		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 一日を通して看護職から助言を得られたり、相談できる環境にあり、安心につながっている		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看取りを希望する利用者および家族がいれば医療、看護、介護が連携して利用者、家族を支援できるようにしている		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」